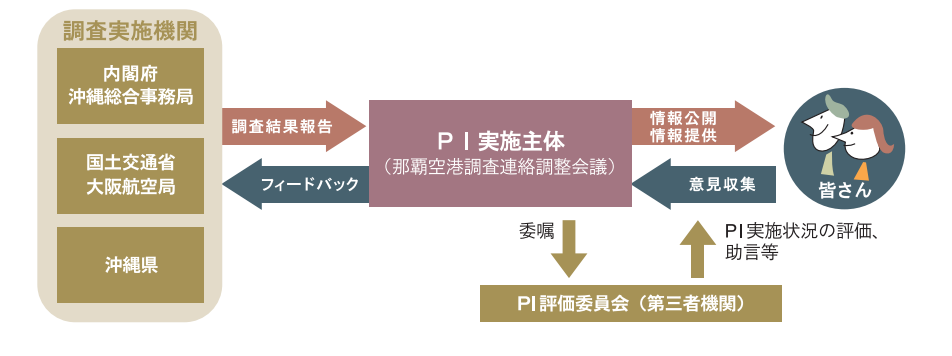
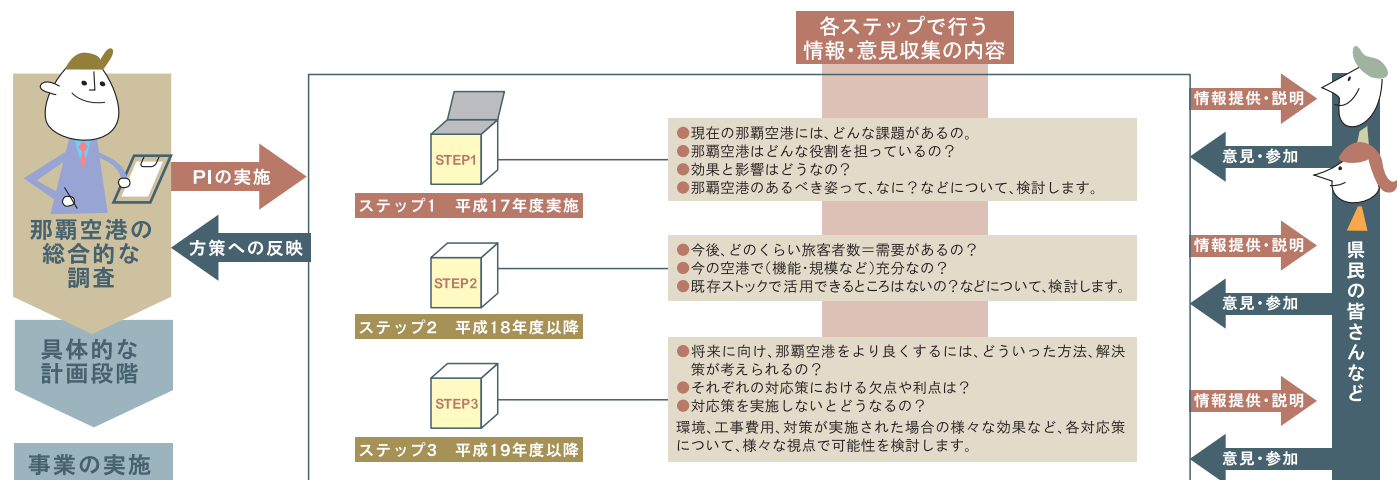




情報提供とご意見の募集期間

平成十七年八月一日～平成十七年九月三十日

那覇空港の調査報告書及び概要版の配布先

(関係機関のホームページからでも閲覧できます。)

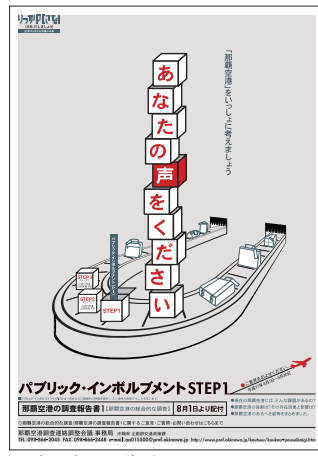
- ・内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾空港建設部港湾空港建設課
- ・沖縄県企画部交通政策課
- ・国土交通省大阪航空局飛行場部空港整備調整課
- ・沖縄県総務部総務私学課行政情報センター
- ・沖縄県行政情報センター北部分室
- ・宮古支庁行政情報センター
- ・八重山支庁行政情報センター
- ・那覇空港国内線総合案内カウンター

●関係機関のホームページ

- ・内閣府沖縄総合事務局開発建設部港湾空港建設課
【<http://www.dc.ogb.go.jp/kyoku/index.htm>】
のページでこのバナーをクリック →
- ・沖縄県企画部交通政策課
【<http://www.pref.okinawa.jp/koutsuu/kuukou-tyouseikaigi.htm>】
- ・国土交通省大阪航空局飛行場部空港整備調整課
【<http://www.ocab.mlit.go.jp/top.htm>】

●お問い合わせ先

- ・内閣府沖縄総合事務局開発建設部 港湾空港建設課
【e-mail : mai-kuukou@ogb.cao.go.jp】 FAX : 098-860-1000
- ・沖縄県企画部交通政策課
【e-mail : aa015500@pref.okinawa.jp】 FAX : 098-866-2448
- ・国土交通省大阪航空局飛行場部 空港整備調整課
FAX : 06-6949-6218



PIが正しく進められているかどうか、チェックします。

PIについて監視していくPI評価委員会（第三者機関）を設置します。この機関によりPIの実施の妥当性等について評価助言を受けながら、PIを実施します。

那覇空港の調査報告書について

今年度は、平成十五・十六年度の二年間で国と沖縄県が実施した那覇空港の総合的な調査の成果に基づき、PIの第一段階（ステップ1）の内容をとりまとめたものです。

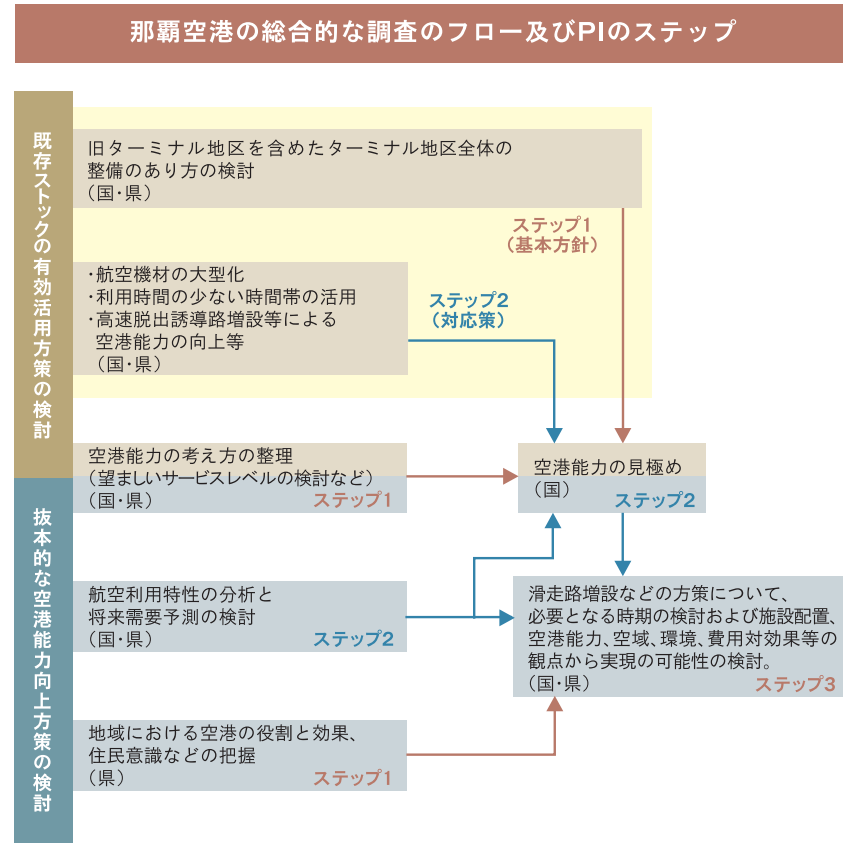
ステップ1では、那覇空港に関する課題、将来像等について、皆さんに調査結果をお知らせするとともにご意見を募集いたします。

PIは調査の進捗に応じて3つのステップで進めます。

この調査では、PIに3段階のステップを設けました。

各ステップで皆さんに情報提供（那覇

空港の調査報告書）や説明会等を行い、ご意見をいただきながら調査を進めていきます。そして皆さんに提供された情報が十分に理解いただけ、また皆さんからの意見が十分に把握できた段階で、次のステップに進みます。



特集 2 開発建設部

那覇空港の総合的な調査とパブリック・インボルブメント(PI)の進め方

【りっかPIさな！～空港から見える沖縄の未来～】
(さあ、PIしましょう)

那覇空港をより良いものにするために、国と沖縄県が連携して行う「那覇空港の総合的な調査」について、パブリック・インボルブメント(PI)を実施します。

那覇空港は、交通政策のあり方を審議する交通政策審議会の答申で「那覇空港は将来的に需給が逼迫することが予想されることから既存ストックの有効活用方策や滑走路増設等を含む抜本的な空港能力向上方策について、幅広い合意形成を図りつつ、国と地域（県）が連携し、『総合的な調査』を進める必要がある」と示されました。（平成十四年十二月）

この答申を受けて、平成十五年度から国と沖縄県で構成する那覇空港調査連絡調整会議では、総合的な調査を実施しています。

那覇空港は平成十六年で約一二七〇万人の方に利用されており、観光やビジネスばかりでなく、皆さんの日常生活にも大きな役割を果たしています。那覇空港の重要性、地域の将来との関わりの深さ等から、那覇空港の将来は、

皆さんにとっても、非常に重要な問題です。

「那覇空港の総合的な調査」のパブリック・インボルブメント(PI)は、効率的な情報の共有化を図るため、皆さんに積極的に情報を提供し、広く皆さんのご意見をいただきながら進めていきます。

パブリック・インボルブメント(PI)とは？

一般的には、政策決定や公共事業の計画策定において、国民や地域住民の方が意見を表明できる場を設け、その意見を計画に反映するものです。

【公衆(Public)を巻き込む(Involvement)】

調査をおこなう機関

「那覇空港の総合的な調査」を進めるにあたり、国（内閣府沖縄総合事務局、国土交通省大阪航空局）と沖縄県の三者で役割を分担しながら、調査を行っています。また円滑に調査を行うにあたり「那覇空港調査連絡調整会議」をつくり調査方針や進捗状況等を確認しながら進めています。

